

大じな仕ごと

大崎上島町立木江小学校

3年 水下 怜瑚

わたしの家には、広い畑があります。おじいちゃんが、何十年もかかって作った畑です。

その畑には、みかん、プラム、キウイ、かき、ぎんなんなどたくさんの物を作っていて、おじいちゃんの自まんの畑です。

おじいちゃんは、わたしが3才の時にはたらきすぎて、心ぞうがわるくなり、なくなってしまいました。今は、おばあちゃんがおじいちゃんの、気もちになって、がんばっています。

おばあちゃんは、ひざがわるくなっていて

「やーれ足がいたい。」

「せんなあもうー。」

と、いつも言っているから、わたしはとてもしんぱいなのに、おばあちゃんは、わたしの気もちも知らないで、夕ごはんの時は、いつも明日の天気を気にして、晴れと出ると、とてもはりきって、雨と出ると、

「せいがなのうー。」

と、しょんぼりします。

お父さんは、仕ごとが、休みの時は、よぼうをしたり、じょ草ざいをかけます。お母さんは、いつもおばあちゃんのじょ手です。みかんをはこんだりしています。わたしは、プラムのはこをくみ立てて、スタンプをおします。お手つだいの中で、一番のお気に入りはキウイの花ふんつけです。白い花に一つずつスポイドで、赤く色をつけた花ふんをつけていきます。首がいたくてしんどいけど、わたしが手つだうと、家ぞくみんながよろこんでくれます。

畑の仕ごとは、一年中あり、家ぞくのがあつまるとおいしい実になります。うちのみかんは、せんかじょうにおくると、大さかや東京へおくられ、お店にならびます。どんな人が、うちで作ったみかんを買ってくれているのかを考えるとわくわくします。

いつまでも、家ぞくが元氣でおじいちゃんの畑を守っていきたいです。